

令和3年度第3回福岡市地球温暖化対策実行計画協議会 議事録（要旨）

■日時：令和3年10月12日（火）14:00～16:00（オンライン会議）

■議事

- ・福岡市地球温暖化対策実行計画 骨子案について
- ・福岡市役所 地球温暖化対策 率先実行計画（案）概要について

■意見等

議事について、各委員から出された意見等と質問に対する事務局からの回答は以下のとおり。

➤ 福岡市地球温暖化対策実行計画 骨子案

第2章 現況とこれまでの取組み

＜これまでの取組実績＞

- ・効果的だったかを見るために、二酸化炭素削減実績、または○×△という評価があれば良い。
（意見）

第3章 都市の将来像

＜めざす姿＞

- ・福岡市は、都市圏のイメージが近く、まちの主要が集まっているエネルギー効率の良さをさらに推進し、自然資本を毀損せず、地域循環共生圏に合致するようにエネルギー利用を変えていくような記載が良い。（意見）

＜目標達成に向けたイメージ＞

- ・なぜエシカル消費を森林吸収と同じ要素と見ているのか。
（質問に対する回答）

エシカル消費（環境にやさしい消費）の普及により、市民や事業者が製造過程から廃棄の過程までの製品のライフサイクル全体で二酸化炭素を排出しない、また、より排出が少ない商品を選ぶことにより、市外の製造場所や廃棄場所での二酸化炭素の削減に貢献することができるイメージを考えている。

- ・市外の分のカウントをするのであれば、プラスの部分だけでなくマイナスの部分もカウントしないとイケない。（意見）
- ・目標のイメージは、温室効果ガス排出量のゼロ達成をめざすというよりも、脱炭素社会の実現に貢献する方があっていと思う。（意見）

第4章 計画の目標

- ・国計画の対策導入による市域の削減効果では、家庭部門で63%、業務部門で62%というある程度大きい数字が出ているが、その削減の要素について補足説明いただきたい。

(質問に対する回答)

国計画の対策導入分は国の地球温暖化対策計画案に施策及びその削減効果が示されていることから、それを福岡市で該当するものなどを当てはめたときの数量を、精査中ではあるが、現時点での概算として算出したものである。

- ・それぞれの対策でどの程度温室効果ガス排出量が削減されるかについては、今後出てくるようになるのか。

(質問に対する回答)

電源構成などにより同じエネルギー消費量でも温室効果ガス排出量が変わってくることから、省エネ効果と温室効果ガスの排出量は必ずしも一致せず、施策の削減効果を算出するのは難しいと考えている。そのため、施策そのものがどの程度進んだかを確認する指標として成果指標を定め、進捗状況を把握することとしている。

第5章 対策・施策

- ・圧倒的に新築よりも既存ストックの方が大きく、新築をZEB化にしても入れ替わる割合が低く、建物の省エネ化は非常に難しいのではないかと感じている。(意見)

- ・福岡市は賃貸の集合住宅が多く、電化もなかなか進んでいないため、給湯や台所にガスが残り、残りの電気の二酸化炭素排出係数が良くなったとしても、その影響が長く残るのではないかと懸念している。(意見)

- ・熱需要の削減についてどのように検討しているのか。

(質問に対する回答)

エリア毎での効率的な熱エネルギーの供給を図るため、天神をはじめ、千代や百道、川端などで事業者による地域熱供給が行われている。また、福岡市においても、家庭に向けたエネファームの補助を行っており、ガスから電気を作り、その排熱でお湯を沸かすなど、熱の有効活用を支援する取り組みを行っている。

- ・産業部門や鉄道・国内船舶は今後改定される計画にも位置付ける予定がないのか。

(質問に対する回答)

福岡市の特性として、家庭・業務・自動車部門で二酸化炭素排出量の約8割を占めていることから、これらの部門を重点的に取り組むとしている。産業部門や鉄道・国内船舶などの運輸部門においても例えば公共交通の利用促進の一環として、七隈線延伸などの取組を実施している。

- ・温室効果ガス排出量の削減量目標が引き上げられたことに伴って、再生可能エネルギーの発電規模の目標についても上乘せされるのか。

(質問に対する回答)

再生可能エネルギー由来電力等の利用拡大の方向性も踏まえ、成果指標として、現行の発電規模とあわせて、再生可能エネルギーの利用率を把握できないかと考えている。数値については、原案までに示していきたいと考えている。

- ・太陽光発電は既存のビル等にも導入が必要になると考えられることから、設備の保守等も含めて、行政の補助等の仕組みも検討することが重要と考える。(意見)
- ・エシカル消費の記載があり、生活の中でできる脱炭素の取組みに注力していることが伝わった。エシカル消費を進めるためには、ラベル等の表示に関する仕組みが重要と考える。(意見)
- ・県においても施策を検討している段階であることから、福岡市と連携を図りながら検討を進めていきたい。(意見)

➤ **福岡市役所 地球温暖化対策 率先実行計画(案) 概要**

- ・太陽光発電設備について設置可能な施設等の50%以上とあり、現状どの程度設置されていて、今後どの程度削減効果として見込んでいるかあった方がよい。(意見)
- ・せっかく良い率先実行計画を策定しても、市民が認知してくれなければ効果が低いことから、周知に関する仕組みについても何かあればよい。(意見)

➤ **その他**

- ・福岡市として国施策に加えてさらに努力して削減したところが、分かるような計画にしないとけない。(意見)
- ・海外の埋立場のメタンの発生抑制効果をどのように捉え、一つの埋立場当たりどのくらいの発生抑制効果を試算しているのか。

(質問に対する回答)

準好気性埋め立て構造である福岡方式では、二酸化炭素に比べて約 25 倍温暖化係数が高いメタンの発生を抑制することが可能である。具体的なメタンの発生抑制効果は、環境省とも協議をしており、明確な方法については決まっていない。